

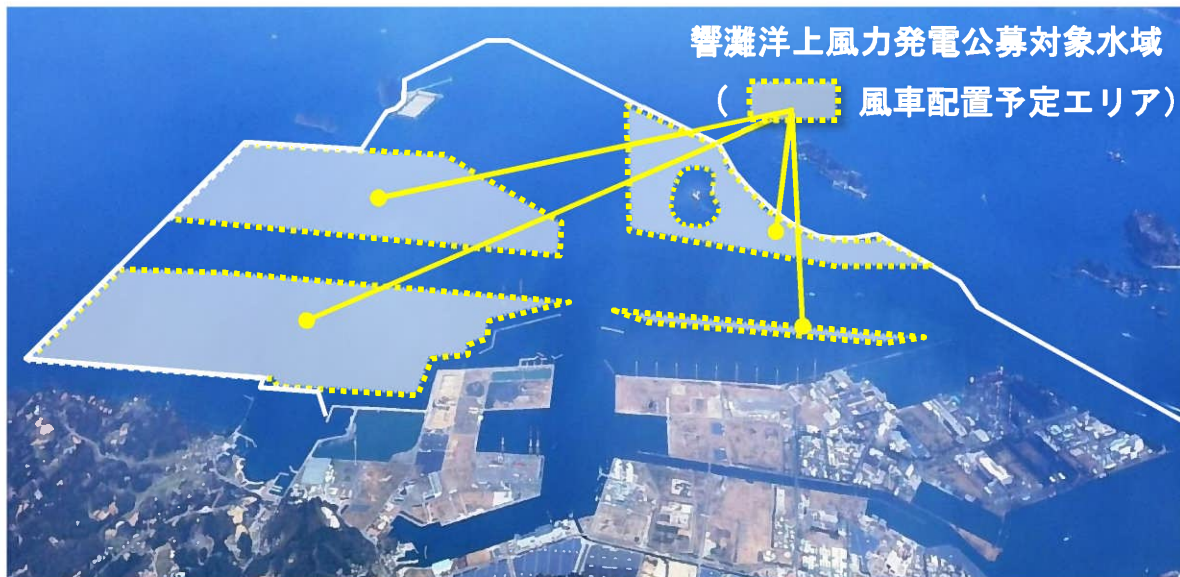
北九州市の強み

～ 災害のリスクが低いエリア ～

＜江戸時代（1605年）以降の主な地震発生状況＞

北九州市は、大陸プレート境界から遠く離れているため大地震のリスクが小さく、**BCP対策に最適な地域**





洋上風力発電



市民太陽光発電
(メガソーラー)



市の焼却場
ごみ発電



バイオマス発電

◆ 製造業等への補助

補助金名	概要	対象経費	設備投資に対する補助率
企業立地促進補助金	新設、増設に対する補助	<ul style="list-style-type: none"> ・土地取得費 ・建物建設費 ・機械設備費 	2～3% (上限10億円)
本社機能等移転 促進補助金	本社機能等移転に対する補助 (総務・企画部門、 研究開発部門等)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地取得費 ・建物建設費 ・機械設備費 	6～7% (上限5億円) ※新規雇用者数に応じて 補助率上乘せ (最大33%)

◆ 本社機能等・IT関連企業等への補助

補助金名	概要	対象経費	賃借料に対する補助率
本社機能等移転 促進補助金 (オフィス賃借型)	本社機能等移転に対する補助 (総務・企画部門、 研究開発部門等)	<ul style="list-style-type: none"> ・5カ年分の賃借料 + 共益費 	50%
オフィス 立地促進補助金	IT関連企業等の 新設、増設に対する補助	<ul style="list-style-type: none"> ・3カ年分の賃借料 + 共益費 	50%

各種支援メニュー ～ オフィスの改修やサテライトオフィスの検討への補助 ～

◆ オフィスビル所有者への補助

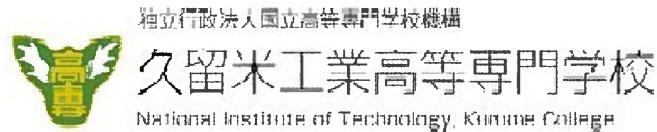
補助金名	概要	対象経費	設備投資に対する補助率
オフィス リノベーション補助金	100坪以上の賃貸オフィス改修 に対する補助 (耐震基準の適合が必須条件)	OAフロア化等の ・改修工事経費	20% (上限5億円)
次世代スマートビル 建設促進補助金	最先端のデジタル技術等の機能を 有する賃貸用オフィスビルの建設 に対する補助	・建設費 (設計費、建築・ 設備工事)	20% (上限10億円) ※竣工後5年以内の人居状況 に応じ分割交付

◆ サテライトオフィスを検討するIT企業等への補助

補助金名	概要	対象経費	各種費用に対する助成額
おためし サテライトオフィス 誘致促進事業	本市でのサテライトオフィス開設 を検討するための滞在経費等に対 する補助	・宿泊費 ・交通費 ・ワークスペース 利用料	宿泊費：最大6,000円/日 交通費：最大30,000円/人(片) ワークスペース利用料： 最大1,500円/日・人

各種支援メニュー

～ 教育機関とのネットワーク ～

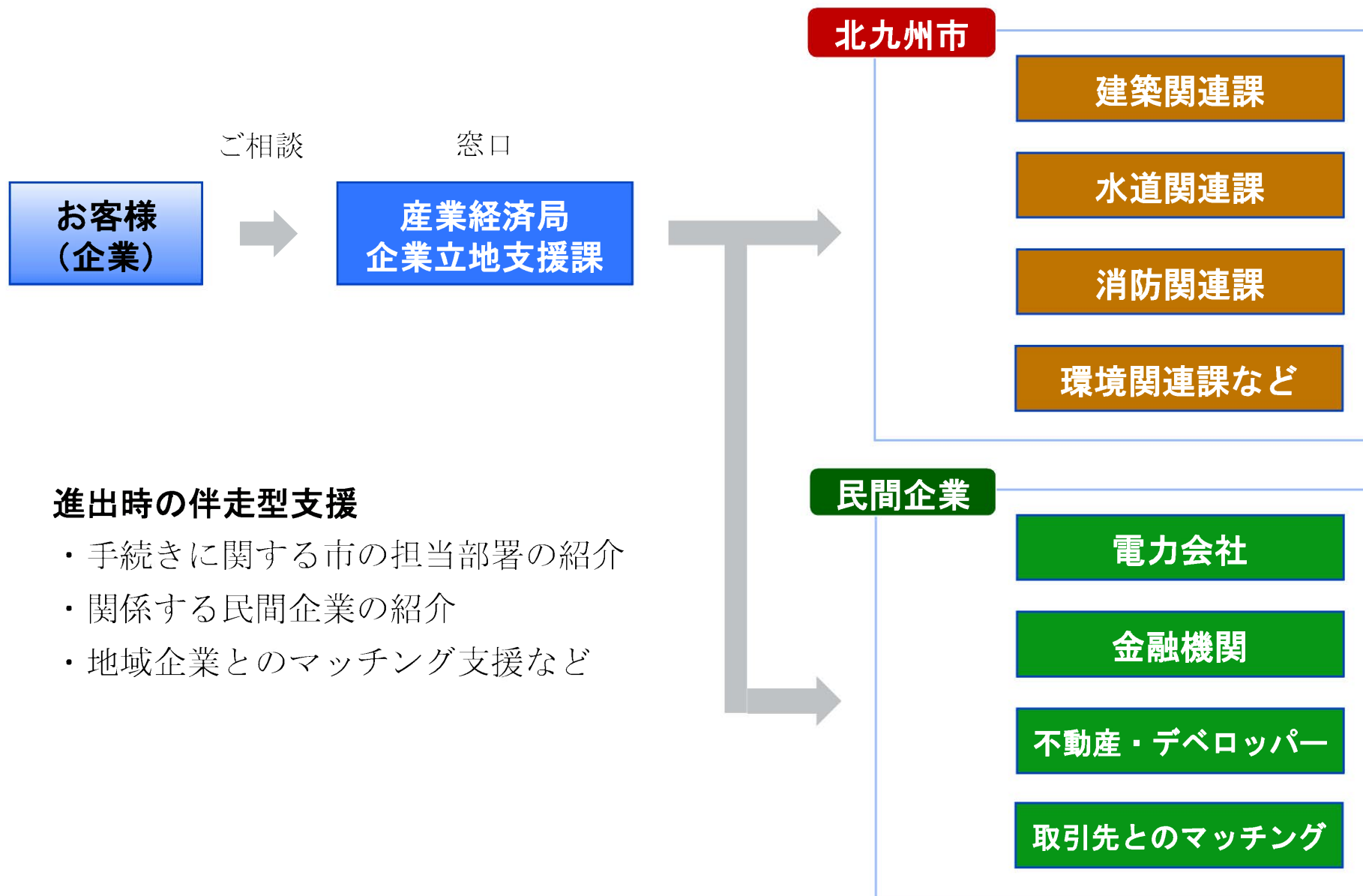


九州・山口の大学・高専・専門学校へ
企業と同行して採用を依頼



文部科学省「職業実践専門課程」認定校

北九州で最初のコンピュータ教育専門学校



進出時の伴走型支援

- ・ 手続きに関する市の担当部署の紹介
- ・ 関係する民間企業の紹介
- ・ 地域企業とのマッチング支援など

目指すべき方向性

～ 求められる変化への対応 ～

社会情勢の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大、SDGs や脱炭素などの世界的な潮流、デジタル化の進展、米中対立による地政学的リスク、大規模自然災害の頻発など

課題

- ◆ コロナ禍によりサプライチェーンの脆弱性が顕在化
- ◆ 企業・自治体のデジタル化の遅れ（生産性の低さ）
- ◆ 欧州連合からの脱炭素の取組みの遅れ など



求められる今後の取組み

グリーン

- ・再生可能エネルギー
- ・蓄電池
- ・水素 など

デジタル

- ・生産性の向上
- ・デジタル人材の育成
- ・働き方改革 など

経済安全保障

- ・サプライチェーンの強化
- ・データ管理の
地政学的リスク

今後こうした変化に本市の「強み」を活かした企業誘致活動が必要

最後に

今後とも

- ・ 新型コロナウイルス感染症による社会経済環境の変化
 - ・ S D G s や脱炭素などの世界的な潮流
 - ・ 地政学的リスクと経済安全保障
- など時代の変化を的確に捉え、

本市の強み

- ・ アジアマーケットへの近接性
- ・ 「陸・海・空」の充実した物流インフラ
- ・ 優れた人材の供給体制
- ・ 自然災害リスクの低さ
- ・ 環境・エネルギー産業の集積

などを活かした企業誘致活動を推進する



あたらしいことを、はじめやすい都市。
福岡県北九州市。